

# インターネットの利用について

大津市立石山中学校

## 1 はじめに

情報通信技術の進歩により、携帯電話をはじめとして、多様な情報通信手段が社会に普及してきました。地球上のいずれかで起こったことが世界中のどこにでも伝えることができるようになりました。

政治や経済の分野では、国境や時間をこえて、世界中の人たちが互いにネットワークでつながり、情報を活用して国際政治や経済を動かしています。ビジネスの世界で活動する企業にとって、インターネットをはじめとするネットワークは絶対必要なツールになってきています。

教育の分野では、高校入試ではWebページで出願のようすを確認することができますし、大学入試においては電子メールで願書を取り寄せることができます。講義のレポートをインターネットを使って家庭から送信したり、休講の確認もできる時代です。コンピュータやインターネットをはじめとするネットワークを使えることは、現代社会に生きていく生徒たちにとって身につけるべき力の1つになったといえるでしょう。

石山中学校でも、インターネットに接続する回線を活用しての授業が行われています。例えば、英語の授業でアメリカの生活のようすについての写真や文章をインターネットで集めて使うなど、授業で活用できる情報を世界中から集めたり、石山中学校のようすを世界に向けて情報を発信ができるようになりました。本校では、この設備を教育活動に積極的に活用し学習指導の充実を図っていきたいと考えております。

しかし、近年、インターネット上での犯罪についての報道を目にすることが多くなってきました。交通安全についての教育が必要なと同じように、情報について自分の身を守り、相手に迷惑をかけない、安心して安全に活用できるようにする教育が必要になってきました。このことは、学校だけでなく家庭でも必要な指導であり、インターネットについての説明、インターネットを生徒たちに使わせることの意義、インターネットを使わせる上で想定されるトラブル、トラブルが起きないための学校の指導方針、また家庭でもご理解いただき、取り組んでいただきたいことをお願いをさせていただきます。

## 2 インターネットって何ができるの？

インターネットは、世界中のコンピュータを通信回線でつなげたネットワークのことをいいます。家庭や学校のコンピュータをインターネットに接続すると世界中のコンピュータにつながり、それぞれのコンピュータが発信している情報を得たり、また、自分のコンピュータに保存されている情報を世界に向けて発信することができます。具体的には次のようなことができます。

- (1) 自分の考えを発信し、それについて意見、感想をもらう。
- (2) 世界中でおこっているさまざまなことを調べる。
- (3) 手紙(電子メール)をやりとりする。(世界のどこにでもメールを送ることができる)
- (4) 世界中の人とTV会議をする。
- (5) 海外のホテルを予約したり、買い物をする。

・・・これらの他にもたくさん利用の仕方があります。

### 3 インターネットを生徒に使わせることの意義

仕事をするとき、関係ある人たちと連絡をとりながらすすめることは当たり前です。ビジネスの世界では、インターネットは必要不可欠なものであり、ネットワークを通してその仕事を進めるのに関係する人たちが必要となる情報を共有していないと、仕事は成功しない時代です。必要性は情報に価値をつけ、価値ある情報をたくさん手に入れることが必要になっているのです。

しかし、このような仕事の進め方は、考え方や生活の風習などがまったくちがう相手と交渉したり、いっしょにチームを組んで仕事をしたりすることも意味します。そのときに必要になる能力は、コンピュータやインターネットの操作だけでなく、相手の考え方を理解し、相手にわかるように自分の考えを主張をし、協調しながら話を進めたりまとめることができる能力です。

また、公共の心を持って、適切な情報発信を心がけたり、インターネット利用のマナーを守ることも大切であり、さらには、インターネット上でのトラブルなどに巻き込まれないように身を守る方法も知っていなければなりません。利用するだけでなく、安全についての知識も必要です。

したがって将来、社会生活を営むにおいて、コンピュータやインターネットを使いこなせるようになるために必要となる能力を実際にインターネットを使いながら学び身につけ、素養となることを養うことは大変意義のあることだと思います。

### 4 インターネットを使わせる上で想定されるトラブル

インターネットは、「世界中の人と交流できること」、「だれでも自由に情報発信できること」というこれまでにない特徴を持ったメディアであるため話題になることも多いわけですが、このことは非常に便利である反面、危険な面も持ち合わせています。実際の社会がそうであるのと同じように、インターネットを使うすべての人が良識を持った人ばかりではないという現実も存在し、なかには犯罪に利用したり、公共の良俗に反するをする人たちも存在します。

実際の生活で「夜道を一人で歩かない」、「大金を持ち歩かない」など、注意して自分の身を危険から守っていますが、同様にインターネット上でも危険性が大きい場合については自己防衛が必要になります。具体的には個人の住所、電話番号を掲載するなど、公表の必要がない情報を公表することなどは避けるべきです。



学校では、以上のような指導や配慮を行いながら、インターネット利用をしますが、最近では図書館などの公共施設だけでなく、携帯電話、パソコンショップ、インターネットカフェなど、学校外においても、生徒たちがインターネットを使うことが十分想定できます。

これまで記させていただいたことをふまえ、インターネットの安全な使い方、正しい使い方について、ご家庭でもご指導いただければ幸いです。